

国際交流センターだより vol.21

ルール大学 (協定校) との学生交流

本学の学術交流協定校であるドイツ・ルール大学に、今年4月、本学6年生を、実に10年ぶりに臨床実習へ派遣しました。さらに、2020年2月に来日した学生を最後に中断していた受入れも今年度より再開し、7月から8月にかけて同大学の学生が来日し、消化器外科・小児外科・乳腺外科および整形外科にて臨床実習を行いました。

Mouhammad Eyad Ahmad (6月30日～8月24日) Ruhr University Bochum

During my two-month clinical training at Nara Medical University Hospital, I had the opportunity to experience Japanese healthcare from a completely new perspective. I joined the departments of General Surgery and Hand Surgery, where I was warmly welcomed by the medical teams. The doctors were highly dedicated to teaching, often involving me in discussions, explaining procedures, and making sure I could follow the surgical cases. Their openness and kindness made it easy to learn, even across language barriers.

What impressed me most about Nara Medical University was the combination of professionalism and hospitality. The staff from both the university and the hospital and students were very supportive, and I also got to know some local students who kindly showed me around and helped me discover more about Japanese culture and daily life beyond the hospital.

Outside of the hospital, the location in Kashihara offered the chance to explore both traditional Japan and nearby vibrant cities like Osaka, Nara, and Kyoto. Overall, my stay at NMU was an unforgettable experience, academically enriching and personally inspiring.

医学科6年 **山名 智尋** (4月7日～5月2日)

ルール大学の麻酔科にて臨床実習させていただき、手術麻酔と集中治療を学びました。カンファレンスや患者さんとの会話などではドイツ語という言葉の壁に直面しましたが、現地の学生が英語で説明してくれ、彼らの優しさ感謝すると同時に語学能力の高さに驚きました。現地の学生は医師の指示を受けることなく自分ですべきことを考えて行動し、またルート確保や採血といった手技にも熟練しており、積極的に学ぶ姿勢に刺激を受けました。友人に恵まれ、多くの学びを得て充実した1か月間でした。



Düsseldorf の日本庭園にて



実習先の病院前で

2025年4月～8月に本学附属病院にて実習を行った留学生を紹介します



Julius Böhme
テュービンゲン大学
ドイツ
3/10～5/2
脳神経外科・
心臓血管外科



Benita Raabe
ゲッチンゲン大学
ドイツ
3/10～5/2
血液内科・循環器内科



◀ **Abdul Rahman Djalal**
ゲッチンゲン大学
ドイツ 6/30～8/22
循環器内科・
呼吸器・アレルギー内科

Ethan Sheard
イーストアングリア大学
イギリス 7/14～8/8
心臓血管外科▶



その他の受入れドクター&学生

氏名	国	講座・診療科	期間
Kanican Intui	タイ	法医学	4/7～6/20
Markéta Hašová	チェコ	総合診療科	4/7～4/15
Halawee Mayingo	タイ	麻酔科	4/16～4/30
Chaiyaphat Patrakulpong	タイ	放射線・核医学科	3/3～4/24
Nantabhorn Akarawongsapat	タイ		7/14～8/13
Liu Guo-ping	中国	心臓血管外科	3/10～5/2
Behsad Daber-Taleh (学生)	ドイツ		5/19～7/11
Julian Kuehne (学生)	ドイツ	消化器外科・小児外科・乳腺外科	5/5～6/27
Julia Grupa (学生)	ドイツ	消化器外科・小児外科・乳腺外科	1/6～6/30
Vanea Uyvico Lim	フィリピン	整形外科	4/23～5/8
Werapat Ngowroongrueng (学生)	タイ		5/5～7/25
Chanon Malaikritsanachalee (学生)	台湾		5/19～5/27
Po Han Su	香港		6/15～6/29
Peter Kam To SIU	台湾		
Kao Shih Wen	台湾		



Ondřej Burle **Šimon Jeřábek**
カレル大学 チェコ 3/24～4/18
総合診療科・整形外科

キングス・カレッジ・ロンドン (イギリス) と学術交流協定を締結しました (2025年8月)

本学は2025年8月、英国の名門校キングス・カレッジ・ロンドンと、医学部学生の臨床実習に関する交流協定を結びました。この協定により、両大学の医学部に在籍する最終学年またはその前年度の学生が、4週間の臨床実習に参加できるようになります。年間で最大2名まで派遣・受入が可能です。今回の協定を通じて、両大学の交流が一層深まり、本学学生にとって貴重な国際経験の場となることが期待されます。



キングス・カレッジ・ロンドン (King's College London、略称 KCL) は、ロンドン大学連合の構成カレッジで、1829年に英国国教会によって設立されたイングランドで4番目に古い大学です。

ロンドンに5つのキャンパスを持つ英国屈指の総合国立大学で、学生数は3万名程度、ロンドン大学のカレッジの中で最大規模を誇ります。

イギリスのエリート大学群であるゴールデン・トライアングル (英国版アイビー・リーグ) の1校で、イギリスの名門研究大学連盟ラッセル・グループの加盟校でもあります。これまでに14名のノーベル賞受賞者を輩出しました。



フローレンス・ナイチンゲールが世界初の看護学校を設立したことも有名で、その背景もあり医学系の学科、特に看護学や歯学の分野で非常に評価が高く、世界ランキングで常にトップ5に位置しています。

また、社会科学の分野においても影響力が強く、国際関係の分野では世界最高峰の大学の一つとして知られています。戦争学部を世界で唯一持つ大学であり、この学部は英国統合軍指揮幕僚課程の一部としても機能しているため、防衛・外交関係の研究機関として高い地位にあります。



令和7年度 (第1回) 若手研究者国際学会発表助成事業 助成者決定 (7月14日)

令和7年度 第1回若手研究者国際学会発表助成事業の助成者は、右記の4名の方々に決定しました。

この事業は、若手研究者の国際学会等での発表の機会を増やし、国際的に活躍できる人材の育成を推進することにより本学における研究活動の一層の活性化を図るため、30万円を上限として往復運賃相当額及び宿泊費相当額を助成するものです。

年3回募集しておりますので、皆さまの積極的なご応募をお待ちしています。

所属 (科目)	職名	氏名
糖尿病・内分泌内科学	医員	勝又 美穂
小児科学	医員	大砂 光正
血栓止血分子病態学	特任講師	下西 成人
脳神経外科学	大学院生	岡本 知也

安全保障輸出管理への取り組み vol.7

《安全保障輸出管理チェックシートについて》よくいただくご質問や一斉メールの内容で不足していた点があるため、下記にて補足いたします。

◆新様式 (様式1-①) について

経済産業省が公表している様式が新しくなりましたので、今後は新様式で作成ください。

様式等は学内ホームページ▶国際交流センター▶安全保障 輸出管理に掲載しています。

◆筆頭著者・責任著者の氏名欄について

「論文投稿」、「英文校正」時は必ず記載してください。筆頭著者と責任者が異なる場合、それぞれ1枚ずつ提出が必要です。上記どちらも同じ場合は、同じ氏名もしくは同上と記載してください。

◆国内外の国際学会で発表する場合について

発表する場合、表面の「提供予定の技術の内容 (概要)」に必ず演題名を記載してください。